

# 「桜井市共同学校事務室」 だより



第8号 2023(令和5)年6月21日発行

桜井市立学校共同学校事務室

共同学校事務室の運営が始まって4年目になりました。

共同学校事務室って何をしている組織かな?とまだ思っている教職員もいると思います。でも学校事務の仕事を市内の事務職員が集まって、共同して行っていることは、殆どの皆さんは知ってくれていると思います。



## 共同学校事務室が出来て良かったこと



桜井市立学校共同学校事務室は、**各校の校務分掌組織表に、各校の事務部や庶務部と繋がっていることが表記されています。**

私たち事務職員は、共同学校事務室という行政組織を活用して、学校の唯一の行政職員として、今まで培ってきたスキルと知恵を出し合い、「どうすれば学校事務がもっと効率化できるのか。」「どうすれば子どもたちの育ちや学びにもっとつながる学校事務が進められるのか。」「教員の事務負担を軽減して、子どもたちにもっと向き合える時間を確保してもらえるのか。」を考えながら、3年間、17人で力を合わせて進んできました。

### ではここで、共同学校事務室が出来て良かったことを紹介します!!

- 徴収金検討委員会を作って、各校で現金集金していた教材費を口座振替に変更することができました。**教員や保護者の事務負担軽減が進みました。**
- 備品要求事務を教育委員会と共同学校事務室が共同して事務を進めることで、業務時間の短縮ができました。今までより1か月以上各校への納品を早くすることができ  
ます。そして、**早く新しい備品で子どもたちに授業ができるようになります。**
- 予算差引簿のデジタル化を進めることができました。
- 財務事務の適正な取り扱いについての文書を教育委員会と話し合いを進め、  
校長会でお知らせし、**各校の徴収金マニュアルの作成を促すことができました。**

- 就学援助金等が、該当する保護者の口座へ直接、振込ができるように教育委員会と話し合いを進めています。**教員や保護者の事務負担軽減が進みます。取り組みは、学校の働き方改革の一助となっています。**

共同学校事務室は、事務職員を支援し、学校事務の仕事をとおして、各校の学校運営が円滑に進むように事務職員の参画を進めています。

これからも、共同学校事務室へのご理解とご協力をお願いいたします。

## 市内の学校事務の3つの平準化を進めています!!

3つの平準化とは、

- ① 学校事務の仕事量の平準化
- ② 学校事務の仕事の質の平準化

(経験年数の違う事務職員は、持っているスキルには違いがあります。お互いがこの組織ができることで補い合うことができます。これを仕事の質の平準化と考えています。)

- ③ 学校事務の平準化

(どこの学校でも同じ内容の学校事務が提供できる仕組みづくりをこの組織で進めていきます。)

各校の学校事務を支援する組織として、事務研究会とも連携し、3つの平準化を学校組織マネジメントの手法を使って進めていくことで、今まで以上に学校事務がよくなり、今まで以上に子どもたちの育ちや学びの支援が出来ると考えています。県費事務職員17人全員に市内14校の兼務発令も出されています。これからも、17人で15校の学校事務を進めています!!

## ～子どもたちの笑顔のために～

**共同して学校事務を進めていきます。**

